



東条西小学校便り

学校教育目標

自らを拓き、自立して、たくましく生きる 西っ子の育成
～挑戦する 友だちを支える 感謝する 西っ子～

2018.10.16

文責 西田

進めています！小・小連携事業

◇マックスバリュ東条見学（3年生）〔9/27〕

社会科の学習で東条東小学校と一緒にマックスバリュの見学をしました。見学の班は、東西小学校合同の班でした。昨年度と1学期の交流により、顔見知りが増えて、自分らしさを発揮できる時間も増えてきています。バックヤードも見学させていただき、マックスバリュ東条店の方にお世話になりました。また、お客さんにもインタビューをし、優しく答えていただきました。ありがとうございました。



◇加東市小中学校人権教育講演会

（5，6年生）〔9/28〕

音楽ユニット「アクアマリン」のお話と演奏を聴きました。世界を旅する中で様々な人と出会い、世界に人のやさしさと共に、人権について考えたことを、歌を交えて語りかけてくださいました。講演会終了後、5年生と6年生に分かれて、東条東小学校と講演会の感想を交流しました。5年生は、自然学校の班で交流し、再会のひとときを楽しんでいました。6年生は、もうすぐ修学旅行に行く東小の6年生に、おすすめの場所や感想を収録したビデオレターを渡しました。



赤ちゃん交流（6年生）〔10/2〕

やしろこどものいえのご協力を得て、10組の赤ちゃんとお母さんが西小学校の6年生との「赤ちゃん交流」に訪れてくださいました。子どもたちは、赤ちゃんに出会い、抱っこさせてもらい、とても柔らかな表情になっていました。中には、「毎日こんなことしたい。」という子



もいました。優しい笑顔あふれる会になりました。ご参加いただいた10組の親子の方々のおかげで、子どもたちは、赤ちゃんと交流することで自分の中にある幼い子どもたちへの優しい気持ちや、自分たちが大切に育てられてきたことへの感謝の気持ちを自然と呼び起こすことができました。



運動会アンケート結果

先日の運動会のアンケートにご協力いただきありがとうございました。一部ですが、結果を紹介させていただきます。

（A:そう思う B:まあそう思う C:どちらかといえば思わない D:思わない）

- 1 総合的に見てよかった（A:49% B:47% C:4% D:0%）
- 2 子どもたちは、集団行動を規律正しくできていた（A:56% B:44% C:0% D:0%）
- 3 子どもたちは、応援などで自主的に活動できていた（A:76% B:20% C:4% D:0%）
- 4 子どもたちは、自分や友だちの頑張りを認め、励まし合うことができていた

（A:67% B:31% C:2% D:0%）

○ご意見

- ・天候の判断は難しかったと思いますが、グラウンド整備等、PTA役員と先生方の作業により、無事に実施できたことに感謝いたします。
- ・プログラムの変更等で子どももPTAも先生方も大変だったと思いますが、子どもたちみんなの頑張りと成長が見られた運動会でした。
- ・少人数の良さが出ていた運動会でした。
- ・子どもたちは最後までとても頑張って演技や準備をしているのに感心しました。
- ・どの演技・競技でも助け合いながらみんながひとつになって楽しみ、頑張っていたのが印象的だった。
- ・子どもたちのテントからの応援がとても大きく素晴らしかった。
- ・ブロック対抗全員リレーがとてもよかった。
- ・子どもたちの気持ちを考えると、順延せずに実施できてよかった。
- ・来年度は、さらに人数が減るので、親子競技等を取り入れてはどうでしょうか。
- ・プログラムの変更により、子どもたちには少しハードだったように思う。
- ・天候の回復を見込んで実施できたのはよかったが、終了時刻が遅くなっても予定されていたプログラムを実施すればよかった。PTAの演技・競技がなくなったのが残念だった。
- ・プログラムを変更してまで、実施したことに疑問を感じる。
- ・人数の少ない地区同士でテントをまとめるとよい。

前述の2、3、4を運動会の目標にして、子どもたちとともに教職員も練習に取り組んできました。そして、全教職員で保護者アンケートの全てに目を通して、運動会についての振り返りをしました。

保護者の方からは、嬉しい感想を多数いただきました。また、判断が難しい天候の中、実施したことやプログラムの変更に関するご意見は賛否両論ありましたが、おおむね実施・変更したことにご理解をいただいていたと思います。それも、保護者の方々の準備や当日のグラウンド整備、片づけ等、温かい支援等のおかげです。児童数、家庭数の減少により、児童の演技・競技の内容や方法、地区テントについても貴重なご意見をいただきました。地区テント数に関しては、地区で協議していただければと思います。4～6年生が担当している準備や演技の係についても、保護者の方々のご協力が必要になると思います。

いずれにせよ、保護者の方々と共に、子どもたちにとって未来につながる運動会になるようにしていきたいと考えます。ありがとうございました。



全国学力学習状況調査（6年生対象：4月実施）の結果から

教科に関する調査では、国語、算数のA（主として知識に関する問題）、B（主として活用に関する問題）、理科のいずれにおいても、過去数年の西小の結果また県平均と比べて10%を上回る低い平均正答率になっている問題がありました。国語、算数ともに、問題の後半部分の無回答の割合が高く、時間が足りず、最後まで問題にたどりつくことができなかったようです。また、理科を含め、提示された複数の資料から必要な情報を取り出したり、情報を読み取ったりする力も弱いことがわかりました。

質問紙調査では、「いじめはどんな理由があってもいけないと思う。」「地域の行事に参加している。」の質問に対する評価がほぼ100%と例年高いことは、保護者・地域・学校が一体となり、日々のきめ細かで丁寧な指導・支援ができていることの成果であると考えます。また、「学校の授業以外に勉強する時間が1時間より少ない。」と答えた児童の割合が61.5%で、これは県平均が33.1%であることからかなり低いといえます。

これらの結果から、本校児童の課題は、多少の困難を伴う課題に対してあきらめず自力で課題に向かう挑戦する姿勢と力を育てることだと考えます。少人数のきめ細やかな指導・支援を大切にしながらも、高学年児童については、学習面・生活面の両面において、これまでの学習したことや経験したことをつなぎ合わせて、自力で考える時間を確保していきたいと思います。また、各教科において、複数のグラフや表から必要な情報を取り出し、情報と情報とを比較したり、関連付けたり、そこから類推したりする学習を今まで以上に意識して取り入れていきます。

ご家庭では、家庭学習に取り組む時間を決め、配布している「家庭学習の手引き」を活用して、宿題以外の学習（自主学習や読書）の時間を増やすようご協力をお願いいたします。

今後もいっそう、家庭と学校が連携して、個々に応じて、子どもたちの生きる力を身につけられるようにしたいと思います。